

★**県北地域の感染症発生状況**〔第42週（10/14～10/20）福島県感染症動向調査より〕  
※詳細は「福島県感染症発生動向調査」で検索してください。

定点把握疾患：咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症が流行しています。  
インフルエンザ、手足口病が小流行しています。

全数把握疾患：百日咳2名（学童：男児、10歳代：男性）が報告されています。

## 今月のトピックス

### ★インフルエンザの流行が始まりました！

インフルエンザの流行〔第41週（10月7日～10月13日）〕が始まりました。昨年と比較して10週早い流行開始となっています。

インフルエンザは、一旦流行が始まると短期間に多くの人に感染がひろがります。特に、乳幼児や高齢者、持病がある方等は「重症化」し、脳症や肺炎等重い合併症を伴う場合があります。感染を拡大させないために、一人一人がインフルエンザについて正しい知識を持ち、予防や感染拡大防止に努めることが必要です。

#### <インフルエンザはどんな病気？>

項目	内容
症状	38℃以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛、咳、鼻水など
感染経路	患者の「せき」や「くしゃみ」などのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むこと（飛沫感染）によって感染する。ウイルスが付着した手で口や鼻を触れることにより感染（接触感染）することもある。
潜伏期間	1～3日
感染伝搬する期間	発症前日から発症後3～7日間は、鼻やのどからウイルスを排出する。（学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日（幼児にあっては3日）を経過するまで」インフルエンザを出席停止期間としている）

#### <予防するためには？>

- ◆**予防接種**：重症化を防ぐことができます。6ヶ月～13歳未満は2回、13歳以上は1回接種。接種後抵抗力がつくまでは約2週間かかります。
- ◆**十分な栄養と睡眠で抵抗力をつける。**
- ◆**外出後の手洗い・手洗い後、手が乾いてからのアルコール消毒も効果的**
- ◆**「咳（せき）エチケット」で他の人への感染予防**

①咳やくしゃみを他人に向けて発しない。②咳やくしゃみが出る時はマスクをすること。マスクがないときはティッシュや腕の内側等で口や鼻をおおい、顔を他人に向けないこと。③鼻汁・タンなどを含んだティッシュはゴミ箱へ捨て、手のひらで咳・くしゃみを受け止めたときはすぐ手を洗う。

1人1人が予防することで流行を防ぐことができます！



### 台風19号により避難所で生活されている皆様へ



避難所は集団生活となり、インフルエンザの感染拡大のリスクが高まります。「マスクの着用」、「手洗いの励行・アルコールでの手指消毒」等でインフルエンザの感染を予防しましょう！

発行日 令和元年 10月25日  
発行元 福島県県北保健所  
医療薬事課  
住所 〒960-8012  
福島市御山町8-30  
電話 024-534-4113  
ホームページ  
検索キーワード 福島県県北保健所